

山形県感染症発生情報

第53週(平成21年12月28日～平成22年1月3日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	8	▼	
咽頭結膜熱	5	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	▼	
感染性胃腸炎	126	▽	多発中
水痘	32	▽	
手足口病	23	▼	
伝染性紅斑	5		
突発性発しん	12	▼	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	2		
流行性耳下腺炎	33	▼	
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	315	▼	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	2		
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	1	△	
マイコプラズマ肺炎	0	▼	
無菌性髄膜炎	0	▽	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*2009年1月～)	
	第53週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	2	3	2	185
3類感染症	コレラ	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	3
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	70
	パラチフス	0	0	0	0
4,5類感染症	E型肝炎	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	3
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	9
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	9
	アメーバ赤痢	0	0	0	1
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	4
	ジアルジア症	0	0	0	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	3
	破傷風	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0
風しん	0	0	0	0	
麻しん	0	0	0	8	

◎ 年末年始期間に休診した医療機関が多く、ほとんどの疾患で患者報告数が減少した。

- インフルエンザは、医療機関の休診等の影響で各地区ともに減少し、県全体の定点当たり報告数は6.56人となり、注意報・警報基準値を下回った。衛生研究所で9月以降に分離したインフルエンザウイルスは、全て新型インフルエンザ(A/H1N1)であり、現在流行しているインフルエンザのほとんどは新型インフルエンザによるものと推察される。
- 感染性胃腸炎は、村山地区で定点当たり報告数が多く、特に、山形市・天童市で流行している。感染力が強いため、患者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。
- 細菌性髄膜炎の患者が、庄内地区から1名報告された(病原体:インフルエンザ菌)。
- 結核は、村山地区から患者1名(北村山)、疑似症患者1名(西村山)報告された。また第46週分として、村山地区から無症状病原体保有者1名(東南村山)が追加報告された。

(1月6日現在 山形県衛生研究所)